

2026 年 8 月 3 日

放射線防護研究会（SS 研）等の当面の開催方針について

放射線安全フォーラム理事長

飯 本 武 志

長きにわたって当フォーラムでは、週末の午後 4 時間程度を使って対面形式またはハイブリッド形式での集会（SS 研や市民公開講座）を年 5 回程度の頻度で開催してまいりました。長めの時間をとっての対面を中心とした情報交換、忌憚のない意見交換は、当フォーラムのもつ大きな特徴であり、魅力のひとつであると考えております。

一方、昨今の社会的な情勢から、長時間にわたって休日の半日以上が拘束されてしまう開催形態は、たとえ魅力的な企画であっても、特に家庭生活や多様な関心事をもつ若手中堅のメンバーにとっては参加しにくい可能性があるとの意見もありました。

より多くの皆様に当フォーラムの活動に気軽にご参画いただき、放射線防護分野の最新の話題や魅力を共有する機会を提供するために何か工夫ができないか、若手中堅を中心に組織された企画委員会で議論を重ねてまいりました。その結果、当面は以下の方針に基づいて SS 研を企画・開催することといたしました。2027 年の会員総会などの機会に参加者数等の実績を紹介させていただき、会員の皆様のご意見を拝聴しつつ、必要な見直しを重ねてまいりたいと考えております。

- ・従前型の週末の午後を活用したハイブリッド形式の SS 研を「L-SS 研」と称して、年 3 回程度開催いたします。
- ・新たに、平日の就業時間後（18 時頃から）の 1 時間で、魅力あるテーマと講師を選定し、気軽にどこからでもご参加いただける遠隔配信型の「S-SS 研」を年数回（当面は 4～5 回程度を予定）開催いたします。リアルタイムでご参加いただけない方や、再聴講をご希望の方にも配慮し、当日の録画を平日の午前中、昼休み、午後、夕方など、日時を変えて数回にわたって再配信いたします。
- ・従前は SS 研の開催 1 か月前に、テーマや講師を公表し、参加の募集をしてまいりましたが、今後は、1 年間程度の先までの企画テーマと講師、開催時期（案）をまとめてお示しし、見通しと計画性をもって当フォーラムの活動への参画計画を立てていただけるよう配慮いたします。

会員の皆様にとって、負担なく気軽に放射線防護の世界に触れていただきつつ、対面の機会も有効にご活用いただき、従前どおり会員相互の交流を深めていただけるよう、企画委員会および運営委員会において引き続き工夫を重ねてまいります。会員の皆様の積極的なご参加を心よりお待ちしております。

以上

2026年8月3日現在

NPO放射線安全フォーラム主催 放射線防護研究会（通称：SS研）の今後の予定

※講師のご都合や社会情勢等の変化でテーマや開催順序、日程等に変更が生じる場合がございます。

※種別「S」は1演題1時間での平日リモート開催（数回の再放映有）で非会員参加費2千円/回。「L」は土日休日3時間程度でのリモート開催（従前型のSS件）非会員参加費は3千円/回。

	SS通番	種別*	日程	時間	演題・テーマ	講師・登壇者	形式
2026年度	第92回	S	9月15日（火）	18:00-19:00	放射性廃棄物処分に関する放射線防護の考え方と課題 一中深度処分を中心にしてー	田中 知（元 原子力規制委員会）	遠隔
	第93回	L	10月31日（土）	13:30-16:30	放射線利用における安全文化の醸成を考える -大学・研究施設の安全活動などの経験	富田賢吾（名古屋大学）、桧垣正吾（東京大学）、鈴木智和（大阪大学）他	ハイブリッド
	第94回	S	12月22日（火）	18:00-19:00	放射線安全規制を揺るがす米国大統領令の概要と関連の動向	金盛正至（一般社団法人SWN）	遠隔
	第95回	S	2月16日（火）	18:00-19:00	原子力災害対策の現状と課題：放射線防護対策からオールハザードアプローチへ	伴信彦（元 原子力規制委員会）	遠隔
	第96回	L	3月7日（日）	13:30-16:30	福島に行って学べること、学んだこと	（大学生・大学院生 他）（担当：鈴木委員）	ハイブリッド
2027年度	第97回	S	4月20日（火）	18:00-19:00	宇宙開発上の放射線防護の現状と課題	込山立人（JAXA）	遠隔
	第98回	L	6月19日（土）	14:30-17:00	（仮）医療現場における放射線防護の現状と課題	調整中（担当：工藤委員）	ハイブリッド
	第99回	S	7月20日（火）	18:00-19:00	ヒト以外の生物種に関する放射線防護の現状と課題	川口勇生（量研機構・放医研）	遠隔